

上関地点 2019年度 上半期の環境監視調査結果について

水質調査の結果は、管理目標値を満足していた。

陸生、海生生物については、過去の調査結果と比較しても顕著な変化が見られなかった。

項目		調査時期	調査結果概要			
水質	陸域工事排水の水質	4月 9日 5月 8日 6月 4日 7月 2日 8月 8日 9月 3日	水素イオン濃度、浮遊物質量ともに管理目標値内であった。			
			項目	調査結果	管理目標値	
			水素イオン濃度	7.0~7.1	5.0以上9.0以下	
			浮遊物質量 (日平均値)	7mg/L 以下	150mg/L 以下	
陸生生物	ハヤブサ	4月 9, 23日 5月 8, 21日 6月 4, 18日	4月にふ化したヒナを確認し、5月、6月には巣立ち後の幼鳥2羽を確認した。また、親鳥は各月で確認した。			写真1
	植生	5月 7, 8日 7月22, 23日	イヨカズラを7箇所15株、ジュウニヒトエを47箇所415株、イヌノフグリを5箇所119株、キンランを3箇所8株、ギンランを1箇所1株、ビャクシンを1箇所1株、クロムヨウランを5箇所16株、ミヤマウズラを1箇所1株確認した。			写真2
海生生物	潮間帯生物	4月17, 18日	植物ではクロメ、イワノカワ科など46種、動物ではアマガイ、カメノテなど41種を確認した。			写真3
	海藻草類		クロメ、サビ亜科など49種を確認した。			
	底生生物		サザエ、アカウニなど6種を確認した。			
	スナメリ	4月~9月 (週1回・計24日)	確認回数は計47回、延べ103頭を確認した。			
	カクメイ科等の貝類	5月14~16日 8月27~29日	カクメイ科の貝類を1個体確認した。 タイドプール※2箇所のうち1箇所は、岩盤の崩落があり、引き続き崩落の恐れがあるため、1箇所での調査を実施した。			写真4

※タイドプール:干潮時に海辺の岩場にできる潮だまり

【参考】

《環境監視計画以外の環境調査》

- カンムリウミスズメ(写真5)
7月に延べ6個体(祝島の東), 8月に延べ2個体(長島の北)を確認した。

- カラスバト(写真6)
計画地点で8月に鳴き声を確認した。
なお, 鼻線島においては, 4月, 9月に姿および鳴き声を確認。5月, 6月に姿を確認。8月に鳴き声を確認した。

(その他)

- 鼻線島のミサゴ(レッドデータブックやまぐち2019「準絶滅危惧」, 環境省レッドリスト「準絶滅危惧」)の繁殖行動状況について, 継続観察した結果, 7月に巣立ち後の幼鳥2羽を確認した。(写真7)

- 鼻線島において, クロサギ(レッドデータブックやまぐち2019「絶滅危惧Ⅱ類」)の繁殖行動を確認し, 継続観察した結果, 7月に巣立ち後の幼鳥3羽を確認した。(写真8)

【調査写真】

写真1:ハヤブサ



(5月8日 親鳥(左), 雛2羽(中央, 右))

写真2:植生



イヨカズラ



ジュウニヒトエ



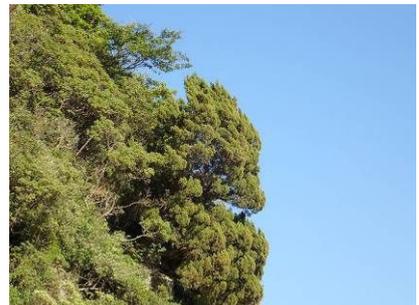
イヌノフグリ



キンラン



ギンラン



ビヤクシン



クロムヨウラン



ミヤマウズラ

写真3:海生生物



クロメ



アマガイ



サビ亜科



サザエ

写真4:カクメイ科等の貝類



5月15日 カクメイ科の貝類

写真5:カンムリウミスズメ



(8月1日 長島の北)

写真6:カラスバト



(4月25日 鼻線島)

写真7:ミサゴ



6月4日 巢内の雛2羽

写真8:クロサギ



7月25日 巣立ち後の幼鳥3羽